

「航空機落下事故に関するデータ調査（平成 16～令和 5 年）」令和 7 年度調査結果修正箇所一覧（2026 年 5 月 19 日修正）

No.	頁	修正箇所	誤	正
1	31	3.2.2 離着陸回数 (2) 離着陸回数データ	国内線（その他）は 49,602 回	国内線（その他）は 48,470 回
2	31	3.2.3 延べ飛行距離 (2) 延べ飛行距離データ	国内線（その他）は 26,388,054km	国内線（その他）は 25,911,002km
3	32	3.2.3 延べ飛行距離 表 3.5 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の離着陸回数	<国内線（回）－ その他> 平成 22 年 1,170 平成 25 年 1,596 計 49,602	<国内線（回）－ その他> 平成 22 年 328 平成 25 年 1,306 計 48,470
4	32	3.2.3 延べ飛行距離 表 3.5 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の離着陸回数	<国内線（回）－ 合計> 平成 22 年 1,433,918 平成 25 年 1,645,132 計 30,638,318	<国内線（回）－ 合計> 平成 22 年 1,433,076 平成 25 年 1,644,842 計 30,637,186
5	36	3.2.3 延べ飛行距離 表 3.7 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の延べ飛行距離	<国内線（km）－ その他> 平成 22 年 371,194 平成 25 年 1,140,725 計 26,388,054	<国内線（km）－ その他> 平成 22 年 141,202 平成 25 年 893,665 計 25,911,002
6	36	3.2.3 延べ飛行距離 表 3.7 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の延べ飛行距離	<国内線（km）－ 合計> 平成 22 年 548,815,250 平成 25 年 657,727,763 計 12,136,903,639	<国内線（km）－ 合計> 平成 22 年 548,585,258 平成 25 年 657,480,703 計 12,136,426,587
7	58	5 まとめ 表 5.2 民間航空機運航実績データのまとめ	<令和 7 年度調査結果> 離着陸回数－国内線（その他） 49,602 延べ飛行距離（km） 26,388,054	<令和 7 年度調査結果> 離着陸回数－国内線（その他） 48,470 延べ飛行距離（km） 25,911,002

修正前後比較表

修正前	修正後
1回含まれるため)を用いる。国際線の多くでは大型民間航空機が使用されることから、「空港管理状況調査」¹⁴の「国際線」の運航実績は、民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）による運航実績と見なすことができるため、この着陸回数を国際線の離着陸回数の整理に用いる。 (2) 離着陸回数データ (1)の算出方法を用いて算出した各暦年別の国内線及び国際線の民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の離着陸回数を表3.5に示す。対象の20年間の離着陸回数は、国内線（定期便）は30,588,716回、国内線（その他）は<u>49,602回</u>、国際線は7,816,046回である。 3.2.3 延べ飛行距離 (1) 整理方法 延べ飛行距離は標準化手順書⁴を用いて次の算出方法により国内線と国際線を別々に整理する。 ① 国内線 国内線の延べ飛行距離の整理には、標準化手順書⁴を用いて、「航空輸送統計調査年報」¹³に記載された運航キロメートルを採用する。「航空輸送統計調査年報」¹³では、国内の運航キロメートルを「定期」及び「その他」の二つの運航形態に分けて集計しているため、本調査においても国内線の延べ飛行距離を「定期」及び「その他」に区分して整理するとともに、合計値も取りまとめた。 ② 国際線 国際線の延べ飛行距離は、標準化手順書⁴を用いて、航空機の落下確率を保守的に評価するために地図を基に算出した各空港から海岸線までの最短距離に「空港管理状況調査」¹⁴に記載された各空港の「国際線」の着陸回数の2倍を乗じて算出する。国際線の多くでは大型民間航空機が使用されることから、3.2.2(1)②と同様に、「空港管理状況調査」¹⁴の「国際線」の着陸回数は、民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）による運航実績と見なしている。 標準化手順書⁴を用いて算出した空港から海岸線までの最短距離を表3.6に示す。空港から海岸線までの最短距離についてはkm表示で小数点以下を切り捨てて求めている。 (2) 延べ飛行距離データ 標準化手順書⁴を用いて算出した各暦年別の延べ飛行距離を表3.7に示す。対象の20年間の延べ飛行距離は、国内線（定期便）は12,110,515,585km、国内線（その他）は<u>26,388,054km</u>、国際線は72,000,000kmである。	1回含まれるため)を用いる。国際線の多くでは大型民間航空機が使用されることから、「空港管理状況調査」¹⁴の「国際線」の運航実績は、民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）による運航実績と見なすことができるため、この着陸回数を国際線の離着陸回数の整理に用いる。 (2) 離着陸回数データ (1)の算出方法を用いて算出した各暦年別の国内線及び国際線の民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の離着陸回数を表3.5に示す。対象の20年間の離着陸回数は、国内線（定期便）は30,588,716回、国内線（その他）は<u>48,470回</u>、国際線は7,816,046回である。 3.2.3 延べ飛行距離 (1) 整理方法 延べ飛行距離は標準化手順書⁴を用いて次の算出方法により国内線と国際線を別々に整理する。 ① 国内線 国内線の延べ飛行距離の整理には、標準化手順書⁴を用いて、「航空輸送統計調査年報」¹³に記載された運航キロメートルを採用する。「航空輸送統計調査年報」¹³では、国内の運航キロメートルを「定期」及び「その他」の二つの運航形態に分けて集計しているため、本調査においても国内線の延べ飛行距離を「定期」及び「その他」に区分して整理するとともに、合計値も取りまとめた。 ② 国際線 国際線の延べ飛行距離は、標準化手順書⁴を用いて、航空機の落下確率を保守的に評価するために地図を基に算出した各空港から海岸線までの最短距離に「空港管理状況調査」¹⁴に記載された各空港の「国際線」の着陸回数の2倍を乗じて算出する。国際線の多くでは大型民間航空機が使用されることから、3.2.2(1)②と同様に、「空港管理状況調査」¹⁴の「国際線」の着陸回数は、民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）による運航実績と見なしている。 標準化手順書⁴を用いて算出した空港から海岸線までの最短距離を表3.6に示す。空港から海岸線までの最短距離についてはkm表示で小数点以下を切り捨てて求めている。 (2) 延べ飛行距離データ 標準化手順書⁴を用いて算出した各暦年別の延べ飛行距離を表3.7に示す。対象の20年間の延べ飛行距離は、国内線（定期便）は12,110,515,585km、国内線（その他）は<u>25,911,002km</u>、国際線は72,000,000kmである。

修正前

表 3.5 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の離着陸回数
Table 3.5 The total number of takeoffs and landings of civil aircraft
(large fixed-wing, instrument flight)

暦年 ^{注1)}	国内線（回）			国際線（回）
	定期便	その他	合計	
平成16年	1,397,124	796	1,397,920	313,204
平成17年	1,418,292	462	1,418,754	333,094
平成18年	1,481,264	218	1,481,482	341,074
平成19年	1,483,448	450	1,483,898	355,416
平成20年	1,467,684	274	1,467,958	358,134
平成21年	1,432,724	556	1,433,280	336,198
平成22年	1,432,748	<u>1,170</u>	<u>1,433,918</u>	348,972
平成23年	1,431,040	3,160	1,434,200	354,322
平成24年	1,539,914	610	1,540,524	388,478
平成25年	1,643,536	<u>1,596</u>	<u>1,645,132</u>	395,086
平成26年	1,686,160	2,268	1,688,428	428,202
平成27年	1,689,272	3,118	1,692,390	477,100
平成28年	1,679,378	4,746	1,684,124	533,560
平成29年	1,691,244	2,984	1,694,228	564,744
平成30年	1,690,008	3,660	1,693,668	588,942
令和元年	1,719,570	3,276	1,722,846	628,380
令和2年	1,178,346	5,924	1,184,270	222,702
令和3年	1,158,090	7,160	1,165,250	175,354
令和4年	1,643,476	4,548	1,648,024	218,318
令和5年	1,725,398	2,626	1,728,024	454,766
計	30,588,716	<u>49,602</u>	<u>30,638,318</u>	7,816,046

注1) 1月～12月

修正後

表 3.5 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の離着陸回数
Table 3.5 The total number of takeoffs and landings of civil aircraft
(large fixed-wing, instrument flight)

暦年 ^{注1)}	国内線（回）			国際線（回）
	定期便	その他	合計	
平成16年	1,397,124	796	1,397,920	313,204
平成17年	1,418,292	462	1,418,754	333,094
平成18年	1,481,264	218	1,481,482	341,074
平成19年	1,483,448	450	1,483,898	355,416
平成20年	1,467,684	274	1,467,958	358,134
平成21年	1,432,724	556	1,433,280	336,198
平成22年	1,432,748	<u>328</u>	<u>1,433,076</u>	348,972
平成23年	1,431,040	3,160	1,434,200	354,322
平成24年	1,539,914	610	1,540,524	388,478
平成25年	1,643,536	<u>1,306</u>	<u>1,644,842</u>	395,086
平成26年	1,686,160	2,268	1,688,428	428,202
平成27年	1,689,272	3,118	1,692,390	477,100
平成28年	1,679,378	4,746	1,684,124	533,560
平成29年	1,691,244	2,984	1,694,228	564,744
平成30年	1,690,008	3,660	1,693,668	588,942
令和元年	1,719,570	3,276	1,722,846	628,380
令和2年	1,178,346	5,924	1,184,270	222,702
令和3年	1,158,090	7,160	1,165,250	175,354
令和4年	1,643,476	4,548	1,648,024	218,318
令和5年	1,725,398	2,626	1,728,024	454,766
計	30,588,716	<u>48,470</u>	<u>30,637,186</u>	7,816,046

注1) 1月～12月

修正前

表 3.7 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の延べ飛行距離
Table 3.7 Total flight distance of civil aircraft (large fixed-wing, instrument flight)

暦年 ^{注1)}	国内線 (km)			国際線 (km) ^{注2)}
	定期便	その他	合計	
平成16年	517,051,659	433,513	517,485,172	3,900,000
平成17年	527,104,292	265,746	527,370,038	3,700,000
平成18年	555,392,832	150,322	555,543,154	3,700,000
平成19年	559,616,583	181,291	559,797,874	3,800,000
平成20年	554,535,973	145,696	554,681,669	3,800,000
平成21年	544,494,742	329,415	544,824,157	3,600,000
平成22年	548,444,056	<u>371,194</u>	<u>548,815,250</u>	3,600,000
平成23年	554,156,367	987,960	555,144,327	3,400,000
平成24年	607,933,799	281,905	608,215,704	3,600,000
平成25年	656,587,038	<u>1,140,725</u>	<u>657,727,763</u>	3,700,000
平成26年	678,832,124	1,640,408	680,472,532	3,800,000
平成27年	681,945,100	2,110,697	684,055,797	3,900,000
平成28年	682,890,250	2,561,049	685,451,299	4,200,000
平成29年	689,723,341	1,621,673	691,345,014	4,400,000
平成30年	690,566,330	1,963,064	692,529,394	4,600,000
令和元年	703,720,834	1,768,999	705,489,833	4,700,000
令和2年	479,559,815	3,191,721	482,751,536	2,100,000
令和3年	480,172,785	3,932,808	484,105,593	1,900,000
令和4年	683,869,921	1,988,605	685,858,526	2,200,000
令和5年	713,917,744	1,321,263	715,239,007	3,400,000
計	12,110,515,585	<u>26,388,054</u>	<u>12,136,903,639</u>	72,000,000

注1) 1月～12月

注2) 国際線は有効桁数を2桁とし、3桁以下を切り捨てて求めた。

修正後

表 3.7 民間航空機（大型固定翼機、計器飛行方式）の延べ飛行距離
Table 3.7 Total flight distance of civil aircraft (large fixed-wing, instrument flight)

暦年 ^{注1)}	国内線 (km)			国際線 (km) ^{注2)}
	定期便	その他	合計	
平成16年	517,051,659	433,513	517,485,172	3,900,000
平成17年	527,104,292	265,746	527,370,038	3,700,000
平成18年	555,392,832	150,322	555,543,154	3,700,000
平成19年	559,616,583	181,291	559,797,874	3,800,000
平成20年	554,535,973	145,696	554,681,669	3,800,000
平成21年	544,494,742	329,415	544,824,157	3,600,000
平成22年	548,444,056	<u>141,202</u>	<u>548,585,258</u>	3,600,000
平成23年	554,156,367	987,960	555,144,327	3,400,000
平成24年	607,933,799	281,905	608,215,704	3,600,000
平成25年	656,587,038	<u>893,665</u>	<u>657,480,703</u>	3,700,000
平成26年	678,832,124	1,640,408	680,472,532	3,800,000
平成27年	681,945,100	2,110,697	684,055,797	3,900,000
平成28年	682,890,250	2,561,049	685,451,299	4,200,000
平成29年	689,723,341	1,621,673	691,345,014	4,400,000
平成30年	690,566,330	1,963,064	692,529,394	4,600,000
令和元年	703,720,834	1,768,999	705,489,833	4,700,000
令和2年	479,559,815	3,191,721	482,751,536	2,100,000
令和3年	480,172,785	3,932,808	484,105,593	1,900,000
令和4年	683,869,921	1,988,605	685,858,526	2,200,000
令和5年	713,917,744	1,321,263	715,239,007	3,400,000
計	12,110,515,585	<u>25,911,002</u>	<u>12,136,426,587</u>	72,000,000

注1) 1月～12月

注2) 国際線は有効桁数を2桁とし、3桁以下を切り捨てて求めた。

表 5.2 民間航空機運航実績データのまとめ

Table 5.2 The summary of flight experience data for civil aircrafts

運航実績データの種類		令和7年度調査結果	(参考) 令和6年度 NRA技術ノート ⁵
離着陸 回数 (回)	国内線 (定期)	30,588,716	30,263,018
	国内線 (その他)	<u>49,602</u>	-
	国際線	7,816,046	7,636,690
延べ飛行距離 (km)	国内線 (定期)	12,110,515,585	11,915,873,596
	国内線 (その他)	<u>26,388,054</u>	-
	国際線	72,000,000	72,000,000

(2) 軍用機落下事故データ

平成16年（2004年）1月から令和5年（2023年）12月までの20年間に於いて、評価対象となる自衛隊機及び米軍機の落下事故の件数は表5.3のとおりである。表5.3には、以前の調査結果との比較のため、令和6年度NRA技術ノート⁵のデータを参考に併せて記載している。

令和7年度調査結果に係る調査の結果、令和6年度NRA技術ノート⁵と比較して、自衛隊機及び米軍機の落下事故件数は大きな変動がないことが分かった。このことから、令和7年度調査結果のデータを用いて自衛隊機及び米軍機の落下確率を評価したとしても、令和6年度NRA技術ノート⁵のデータを用いた場合に比べ、全体的に大きな変動がないと考えられる。

表 5.3 評価対象となる自衛隊機及び米軍機の落下事故の件数

Table 5.3 The number of Japan self-defense and U.S. force aircraft crashes subjected to evaluation

航空機の分類	令和7年度調査結果			(参考) 令和6年度NRA技術ノート ⁵ (H15～R4)
	H16～R4	R5	合計	
自衛隊機 (大型固定翼機)	3	0	3	3
自衛隊機 (小型固定翼機)	1	0	1	1
自衛隊機 (回転翼機)	10	0	10	11
米軍機 (固定翼機)	2	0	2	2
米軍機 (回転翼機)	3	0	3	3

表 5.2 民間航空機運航実績データのまとめ

Table 5.2 The summary of flight experience data for civil aircrafts

運航実績データの種類		令和7年度調査結果	(参考) 令和6年度 NRA技術ノート ⁵
離着陸 回数 (回)	国内線 (定期)	30,588,716	30,263,018
	国内線 (その他)	<u>48,470</u>	-
	国際線	7,816,046	7,636,690
延べ飛行距離 (km)	国内線 (定期)	12,110,515,585	11,915,873,596
	国内線 (その他)	<u>25,911,002</u>	-
	国際線	72,000,000	72,000,000

(2) 軍用機落下事故データ

平成16年（2004年）1月から令和5年（2023年）12月までの20年間に於いて、評価対象となる自衛隊機及び米軍機の落下事故の件数は表5.3のとおりである。表5.3には、以前の調査結果との比較のため、令和6年度NRA技術ノート⁵のデータを参考に併せて記載している。

令和7年度調査結果に係る調査の結果、令和6年度NRA技術ノート⁵と比較して、自衛隊機及び米軍機の落下事故件数は大きな変動がないことが分かった。このことから、令和7年度調査結果のデータを用いて自衛隊機及び米軍機の落下確率を評価したとしても、令和6年度NRA技術ノート⁵のデータを用いた場合に比べ、全体的に大きな変動がないと考えられる。

表 5.3 評価対象となる自衛隊機及び米軍機の落下事故の件数

Table 5.3 The number of Japan self-defense and U.S. force aircraft crashes subjected to evaluation

航空機の分類	令和7年度調査結果			(参考) 令和6年度NRA技術ノート ⁵ (H15～R4)
	H16～R4	R5	合計	
自衛隊機 (大型固定翼機)	3	0	3	3
自衛隊機 (小型固定翼機)	1	0	1	1
自衛隊機 (回転翼機)	10	0	10	11
米軍機 (固定翼機)	2	0	2	2
米軍機 (回転翼機)	3	0	3	3